

理解すること

大口明光学園高等学校 二年 松枝 優奈

私は、夏休みの二日間、グループホームに職場体験に行った。その施設の入居者は、皆さん認知症の方だった。私は職場体験に行くまで認知症の方とは話したことがなかった。だから最初はとても緊張した。しかし、一緒に体操をしたり、歌を歌ったり、一緒に活動すると、だんだんと緊張が解けていき、入居者の方と楽しくお話ができるようになっていった。

職場体験では、一日目は、主に入居者の方との活動だった。私でも知っている童謡に合わせて、手や口、体の体操をした。そのほかにも、イベントの飾りを折り紙で作ったり、入居者の方とお話をしたりした。初めての入居者の方々との共同作業で、イベントの飾りもたくさんできたので達成感もあり、楽しかった。

二日目は、主に排泄介助や、入浴介助の手伝いをさせていただいた。介護士の方の本当に大変な仕事の一つだと思った。一人ひとりに向き合って、一人ひとりの性格や認知症の進行度を理解していないと入居者それぞれの方に適切な介助はできないなと感じた。

私は、認知症の方とコミュニケーションをとるのは難しいと思っていたが、認知症のことを正しく知り、正しく理解することで、認知症でない方と同じようにコミュニケーションできると思った。

私は、この職場体験でその仕事のやりがいや大変さを知っただけでなく、相手のことを知り、理解して、コミュニケーションをとることで、相手も自分も楽しく過ごせることも学んだ。

この体験から学んだように、自分以外の人のことも知り、自分と違うことを理解して、受け止めれば誰もが安心してコミュニケーションをとり、生きていけると思った。

世の中には、自分の意志や考え方が正しいと思っている人が大勢いると思う。私も自分の意見や考え方が正しいと思い込み、口論になったり、納得いかずに解決したりすることがあった。

まず大切なのは、自分だけが正しいのではなく、ほかにも正しいことが複数あることを知り、自分以外の考え方もあることを認知することだと思う。そして、その違う考え方を理解し、認めることができれば、とてもいい世の中になると思う。

他人のことが理解できると、心にも余裕ができ、周りに気を配る余裕ができると思う。周りが見えることによって、困っている人がいたら手を差し伸べたり、些細な事でも人のために何かできたりするかもしれない。私はその小さなことがたくさんの人によって行われれば、今よりもっと住みやすい地域が増えると思う。

思いやりや助け合いの気持ちや行動がいろいろな人によってつながっていけば、いつか自分が困ったときや助けてほしいときに必ず誰かが手を差し伸べてくれると私は信じている。

他人のことを知り、理解し、受け入れるのは、すごく難しいことかもしれないが、ずっとほかの人の意見を受け入れずに過ごしていても、自分だけの世界のような場所で生きている感じがして、他人とのコミュニケーションを断っているような気がするので、意見や考え方が違う人とたくさん話し合っ、意見や考え方が違うことを理解し、互いの意見や考え方を認め合うほうがいい

と思った。

そして、互いに認め合える人が増えると、もしかしたら戦争や喧嘩のような小さな争いごともなく
なる日が来るかもしれない。もし自分の気分を害することがあっても、冷静に考え、話し合うこ
とがいいと思う。苛立ちだけで人に自分の感情をぶつけても、何も解決しないからだと思う。

私は、今までは私と違う考え方を持った人と話すときこういう考え方をする人もいるのだと思
っただけだったが、これからは理解しようと思った。

このように、私は職場体験を通じて、相手のことを、知り、理解し、受け入れれば、楽しくコミュ
ニケーションができることを学んだ。これからも、自分と意見や考え方がかみ合わない人が出て
くるだろう。でも、たくさん話し合い、相手のことを知って、理解して受け入れて、自分が納得の
いく形で解決していこうと思った。